



運営委員も毎朝の呼びかけがんばりました！子どもたちはその呼びかけにきちんと反応することができました！

## 届け！久玉の心！



確かに届けられました！



学校通信「つなぐ」第2号でお知らせした1週間の募金活動を終わりました。わずか5日間の募金期間にも関わらず、募金総額はなんと「58180円」です。すごいですね。子どもたちだけではなく、保護者のみなさまの「なにかしなげれば」という気持ちがたくさん集まったのだとおもいます。ありがとございます。

先日のニュースで、高校生が「今は勉強よりも大事なことがある」とボランティア活動に取り組んでいるのを観ました。

人は何のために生きるのか。いろいろな考えがあるとは思いますが、ひとつ、「人の役に立つ」ということは確かにあると思います。

今回、久玉っ子の取組は、今、直接被災地に届け、困っておられるみなさまの役に立つということではありません。今後、もっと大きなエネ

ルギーを要する「復興」に向けての取組が活用されると思います。

そんな方々のこれからを考えると、私たちの取組は本当に些細なことだと思います。でも、「困っている人がいたら助けること」「人に優しくすること」を行動に移すことが大切ではないかと思っています。

大川校長先生が子どもたちに3つのことを話されました。そのひとつは、「学校で勉強したことは毎日の生活の中でどんどん使う子に」ということでした。今回のことも、まさにそのひとつだと思います。

頻度は少なくなりましたが、まだニュース等の報道は続いています。時折、この熊本地震を振り返らせ、けっして「忘れてしまわせない」ということも、大切な大人の役目かもしれません。



4月26日(火)は、交通教室でした。低学年は、横断歩道の渡り方などの実技を実施しました。中・高学年は、あいにくの雨天により、自転車の乗り方の実技はできませんでした。

## 危険予測能力が思考力を育てる

しかし、その分、貴重なDVD視聴により、危険予測能力について学習することができました。

車の陰から安全確認をせずに子どもが飛び出そうとする動画に「あ〜っ」という声が思わずあがります。それこそが危険予測能力です。DVD学習の中にはそういうシーンがいくつもあり、私たちが思っている以上に、学習成果があったと考えています。

自分が軽はずみな行動をしたために起こりうる危険性を考えて行動することは、そのまま思考力を育てる学習でもあります。日常のさりげないシーンで、「あなたは思う？」と聴いてあげることは思考力を育てます。これも、「学習したことを毎日の生活の中でどんどん使う」ということのひとつです。



## Bigriver's tweet~校長室より~



校区の道路事情をしてみると、特に朝夕の交通量が多い国道と見通しが悪く道幅の狭い道が多いという印象があります。交通事故が本当に心配されます。

新学期が始まり、子どもたちの登校の様子を見てきました。春の全国交通安全運動が終わった今でも、要所には交通指導をしてくださる牛深警察署や久玉派出所の方、地域の交通安全協会や婦人会等の方々に会えることができました。

さて、4月26日に交通教室を実施しました。子どもたちには交通事故から命を守る大切な勉強ですと話しました。当日は牛深警察署、久玉派出所から4名の方においでいただき、講話や1、2年生の交差点の渡り方の実技指導をしていただきました。また、校区内の巡回パトロールでお世話になる交通安全指導員の桃根さんからは安全な自転車の乗り方についてご指導をいただきました。

私たちは、子どもたちが地域の人たちに見守られながら安全な登校ができていことに感謝しなければなりません。そして、正しい状況判断と安全な行動がとれる力を子どもたちに身につけていかなければなりません。学校での指導はもちろんですが、家庭の力がとても大きいです。子どもたちは、勉強したことをおうちの人に話してくれましたか。そして、毎日の生活で使っていますか。連休が続きます。交通ルールを守って安全な休日を通しましょう。

Bigriver's tweet

お前が海に出たのはお前の責任どこでどうしたばろうとお前の責任誰にも非はねエ

「自己決定」行動に移す時は、学年が上がるにつ入れ、自分の責任を少しずつ大きくしていきます。自己決定なしに親がいろいろやってあげると、自立できなくなってしまう。あなたがどうしたいの？と言ったあとで少し待つてあげることが大切ですね。

(縦書き)の通信の右下です